

災害のないまちづくりのために



千曲坂城消防本部消防災害支援隊「SWALLOW」(スワロー)

(平成 30 年 4 月発足)

平成 30 年 2 月 21 日
防 災 推 進 会 議

近い将来、南海トラフ地震や首都直下型地震等の大規模地震が危惧されている中、地球温暖化の影響ともいえる異常気象による風水雪害などの各種災害が多様化、大規模化して発生しています。昨年、7 月には福岡県と大分県を中心とする九州北部豪雨の発生で、39 名の尊い命が奪われ、9 月、10 月に発生した台風では、立て続けに上陸や接近をして全国各地で死傷者を出す人的被害や家屋を損壊する住家被害をもたらしました。管内でも、この台風の影響で千曲川の増水や強風による倒木等、各地区で被害が発生しました。また、昨年は過去に例を見ない頻度で北朝鮮の弾道ミサイル発射により、Jアラートの情報伝達が送信され国民に大きな不安を与え、新たな危険に備えることの重要性を再認識させられる事案でもありました。このような災害等を教訓に、大規模災害発生時には「公助」の支援だけでは限界があり、地域住民により助け合う等の「自助・共助」が必要不可欠で、自主的な防火防災活動と災害に強い地域づくりが重要とされています。

昨年、管内で発生した火災件数は 39 件で前年比 2 件減少しましたが、死者 1 名、負傷者 2 名が出ている状況です。9 月に千曲市八幡の歴史的な神主屋敷「松田館」で発生した火災では、「主屋」及び「斎館」といった県宝指定の重要文化財が全焼し、大きな損害を与えましたが、被害が拡大した要因として、消防機関への通報の遅れ、初期消火の遅れがあり、より一層地域住民への火気管理の徹底と火災による被害の軽減など、防火意識の高揚を図る取り組みが必要です。救急出動件数については 3,757 件で、前年比 82 件増加し過去最多の出動となっています。高齢化の進展等が一因であり、今後も更に増大することが予想されます。

このような災害状況や社会情勢の変化を踏まえ、平成 30 年度は次の事項を重点に掲げ推進します。

1 防火防災に対する意識の高揚

(1) 火災予防の徹底

ア 住宅防火対策の推進

- (ア) 住宅用火災警報器の設置の徹底、適切な維持管理の必要性、方法等の具体的な広報及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進
- (イ) 防災品の周知及び普及促進
- (ウ) 高齢者等の要配慮者の把握と安全対策及び死傷防止対策
- (エ) 天ぷら鍋からの出火など、うっかり火災の防止
- (オ) 火気使用器具及び電気器具からの出火防止対策
- (カ) たばこ火災に係る注意喚起
- (キ) 薪ストーブ等による煙道火災の注意喚起
- (ク) 地震による電気火災対策として、感震ブレーカー等の普及促進
- (ケ) 消防団・婦人消防隊及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動

イ 放火火災防止対策の推進

- (ア) 放火されない環境づくり
- (イ) センサー付き照明等の防火・防犯設備の設置指導

ウ たき火の際の安全確認と消火の準備及び消火の徹底

- エ 子供の火遊びによる出火防止対策
- オ 林野火災予防対策
 - (ア) 屋外告知放送、車両等による広報活動及び巡回指導
 - (イ) 林野周辺住民及び入山者等の防火意識の高揚

(2) 自然災害に対する対応と対策

- ア 地震や風水害等に対する防災に関する知識の普及啓発
- イ 地域ぐるみの防災体制の確立
- ウ 地域の自主防災組織の育成強化
- エ 地域における実践的な防災訓練の普及
- オ 災害危険箇所等の把握及び住民への周知
- カ 雪害対策として、近隣居住者等との協力の下、複数人での除雪作業実施
- キ 水・食料等の備蓄、家具の転倒防止等自主防災の呼びかけ

(3) 危険物災害の防止

- ア 家庭や職場における危険物の取扱いに対する安全意識の高揚
- イ 液化石油ガス及び都市ガスの性状、ガス器具使用上の安全対策等について周知徹底
- ウ 自主点検及び震災時等の転倒防止と漏えい事故防止

2 防火防災に関する指導及び啓発

- (1) 防火座談会、防災講習会等の開催
- (2) 各種災害を想定した防災訓練の実施
- (3) 住民、事業所等各自主防災組織間の協調、連携を図る啓発行事の実施
- (4) 製品火災発生防止に向けた注意情報の発信と適切な使用・維持管理の呼びかけ
- (5) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導
 - ア 催しを主催する者に対する指導
 - イ ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
 - ウ 火気器具を使用する屋台等への指導

3 災害事故発生時の対応についての普及啓発

- (1) 初期消火要領
- (2) 正しい119番通報要領
- (3) 安全かつ正しい避難要領
- (4) 要配慮者の救出活動要領
- (5) 応急手当の知識と技術
- (6) AEDの設置場所に関する情報の収集及び住民に対する情報提供
- (7) AEDが設置されている公共施設等の活用
- (8) 救急車の適正な利用の呼びかけ
- (9) 被害の確認・応急措置、臨時的な対応、復旧対応等
- (10) 文化財所有者等と近隣住民による連携体制の推進

4 その他

- (1) 老朽化消火器による破裂事故等防止の注意喚起
- (2) 廃消火器リサイクルシステムの情報提供
- (3) 消火器、住宅用火災警報器等の悪質な訪問販売・詐欺等における被害防止

千曲坂城消防組合防災推進実施要綱

〔平成15年9月1日〕
訓令第13号

(目的)

第1 この要綱は、住民が消防防災行政への理解と意識を高め、火災を始めさまざまな災害の予防及び被害の軽減等を自らの課題として、積極的に取り組む地域づくりを推進するために、消防本部及び消防団等が連携し日常的な防災行動を住民に徹底し、災害に強い安心できる地域づくりに貢献することを目的とする。

(防災推進員)

第2 防災行動力等の定着を図るため地区代表者、消防団分団長、婦人消防隊長（部長）及び消防職員からなる防災推進員を設ける。

2 地区代表者は、区長若しくは自治会長とする。

3 消防職員の地区担当は、消防団の分団を単位に管轄署長が編成する。

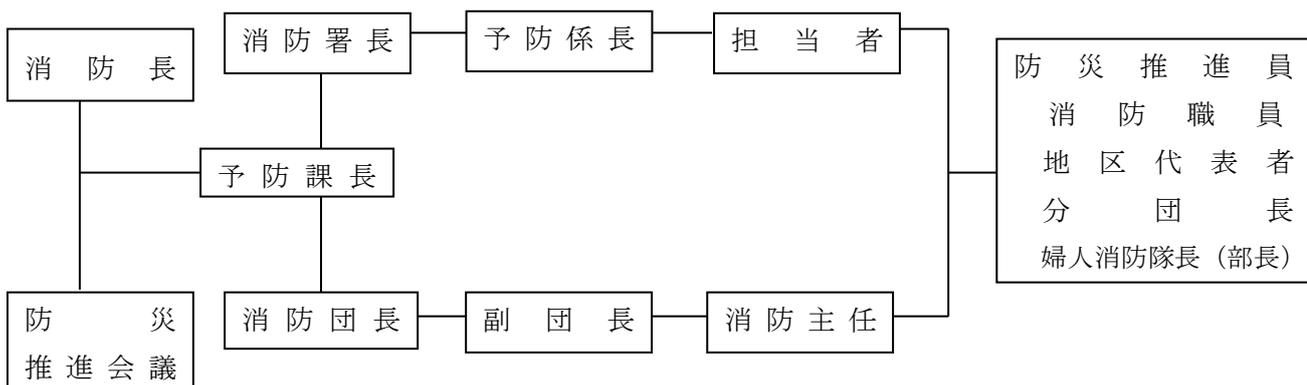
(防災推進員の任務)

第3 防災推進員は次のことを実施する。

- (1) 火災予防及び発生時の措置に関する指導
- (2) 地震、風水害等自然災害に対する措置に関する指導
- (3) 救急、緊急時の応急処置に関する指導
- (4) 消防関係訓練の指導及び講習会等の開催
- (5) その他地区防災に関すること

(組織及び会議)

第4 組織は次のとおりとする



2 会議は防災推進会議とし、消防団幹部等との合同会議をこれにあてるとともに、推進目標を決定する。

3 この事務の所管は、消防署予防係とする。ただし、必要に応じて予防課は業務の補完をする。

(その他)

第5 防災推進員として出向する職員は、地区担当及び申請内容等を考慮して署長が指名した者

とする。

- 2 防災推進員は、事案が発生したときは防災推進連絡簿（別記様式）に必要事項を記入し消防署予防係へ提出すること。又事案が終了したときも必要事項を記入し提出すること。
- 3 防災推進員は、事案を円滑に推進するために、地区の事情に応じ関係機関等に協力を依頼することができる。
- 4 関係市町が行う生涯学習関係事業等への出向は、この要綱に準ずる。

附 則

この要綱は、平成15年9月1日から施行する。

■ 消防組合関係者

消防組合役員名簿

管理者・副管理者

平成 30 年 4 月 1 日現在

職名	氏名	現職
管理者	岡田 昭雄	千曲市長
副管理者	山村 弘	坂城町長
副管理者	山本 高明	千曲市副市長

組合議会議員

平成 30 年 8 月 28 日現在

職名	氏名	住所
議長	倉島 さやか	千曲市
副議長	大森 茂彦	坂城町
議員	飯島 孝	千曲市
議員	荻原 光太郎	千曲市
議員	金井 文彦	千曲市
議員	北川原 晃	千曲市
議員	小山 嘉一	千曲市
議員	袖山 廣雄	千曲市
議員	滝沢 清人	千曲市
議員	中村 了治	千曲市
議員	朝倉 国勝	坂城町
議員	吉川 まゆみ	坂城町

監査委員

平成 30 年 8 月 28 日現在

職名	氏名	住所
識見者	塚田 明	坂城町
議会選出	小山 嘉一	千曲市

歴代管理者

氏名	在職期間	職別
宮坂博敏	自平成15年10月5日 至平成19年10月4日	千曲市長
近藤清一郎	自平成19年10月5日 至平成24年9月27日	千曲市長
岡田昭雄	自平成24年11月11日 ～現在	千曲市長

歴代副管理者

氏名	在職期間	職別
中沢一	自平成11年5月1日 至平成23年4月30日	坂城町長
山村弘	自平成23年5月1日 ～現在	坂城町長
近藤清一郎	自平成15年11月28日 至平成19年7月9日	千曲市助役 千曲市副市長
瀧澤嘉市	自平成19年11月1日 至平成25年1月31日	千曲市副市長
山本高明	自平成25年2月1日 ～現在	千曲市副市長

歴代組合議会議長

氏名	在職期間	住所
若林勝朗	自平成15年11月5日 至平成16年6月15日	千曲市
戸谷有次郎	自平成16年8月23日 至平成18年7月24日	千曲市
和田重昭	自平成18年8月22日 至平成20年7月31日	千曲市
西澤今朝人	自平成20年8月22日 至平成22年4月27日	千曲市
中村直行	自平成22年8月24日 至平成24年7月24日	千曲市
中沢政好	自平成24年8月23日 至平成26年7月23日	千曲市
小山嘉一	自平成26年8月18日 至平成28年7月24日	千曲市
原利夫	自平成28年8月23日 至平成30年7月31日	千曲市
倉島さやか	自平成30年8月28日 ～現在	千曲市

歴代組合議会副議長

氏名	在職期間	住所
宮島祐夫	自平成15年5月29日 至平成18年8月22日	坂城町
青木崇	自平成18年8月22日 至平成20年7月31日	千曲市
春日武	自平成20年8月22日 至平成21年5月19日	坂城町
大森茂彦	自平成21年7月7日 至平成23年5月17日	坂城町
塩野入猛	自平成23年7月6日 至平成25年11月11日	坂城町
大森茂彦	自平成25年11月11日 ～現在	坂城町

氏 名	在職期間	区 分	住 所
鈴木 秀典	自平成 13 年 2 月 14 日	識見者	坂 城 町
	至平成 21 年 2 月 13 日		
市川 喜保	自平成 15 年 11 月 5 日	議会選出	千 曲 市
	至平成 16 年 6 月 15 日		
金沢 利	自平成 16 年 8 月 23 日	議会選出	千 曲 市
	至平成 20 年 7 月 31 日		
中沢 政好	自平成 20 年 8 月 22 日	議会選出	千 曲 市
	至平成 22 年 7 月 31 日		
中澤 守	自平成 21 年 2 月 14 日	識見者	坂 城 町
	至平成 29 年 2 月 13 日		
内宇田 和美	自平成 22 年 8 月 24 日	議会選出	千 曲 市
	至平成 24 年 7 月 24 日		
和田 重昭	自平成 24 年 8 月 23 日	議会選出	千 曲 市
	至平成 26 年 7 月 23 日		
荻原 光太郎	自平成 26 年 8 月 18 日	議会選出	千 曲 市
	至平成 28 年 7 月 24 日		
小山 嘉一	自平成 28 年 8 月 23 日	議会選出	千 曲 市
	～ 現在		
塚田 明	自平成 29 年 2 月 14 日	識見者	坂 城 町
	～ 現在		

歴代消防長

歴 代	氏 名	在職期間
初代	北 澤 親 夫	自平成 15 年 9 月 1 日
		至平成 16 年 3 月 31 日
2代	小 岩 一 雄	自平成 16 年 4 月 1 日
		至平成 17 年 3 月 31 日
3代	近 藤 善 正	自平成 17 年 4 月 1 日
		至平成 18 年 3 月 31 日
4代	朝 倉 和 雄	自平成 18 年 4 月 1 日
		至平成 20 年 3 月 31 日
5代	北 澤 宏	自平成 20 年 4 月 1 日
		至平成 21 年 3 月 31 日
6代	森 保 美	自平成 21 年 4 月 1 日
		至平成 22 年 3 月 31 日
7代	中 村 正 行	自平成 22 年 4 月 1 日
		至平成 23 年 3 月 31 日
8代	山 崎 一	自平成 23 年 4 月 1 日
		至平成 24 年 3 月 31 日
9代	保 坂 正 男	自平成 24 年 4 月 1 日
		至平成 26 年 3 月 31 日
10代	望 月 則 男	自平成 26 年 4 月 1 日
		至平成 28 年 3 月 31 日
11代	柳 町 幸 夫	自平成 28 年 4 月 1 日
		～ 現在

消防団長

◆千曲市

氏名	在職期間
荒井 治和	自平成 15 年 9 月 1 日 至平成 18 年 4 月 1 日
岡田 忠行	自平成 18 年 4 月 2 日 至平成 20 年 4 月 1 日
渡島 港一	自平成 20 年 4 月 2 日 至平成 22 年 4 月 1 日
塚田 昌平	自平成 22 年 4 月 2 日 至平成 24 年 4 月 1 日
亘 健二	自平成 24 年 4 月 2 日 至平成 26 年 4 月 1 日
坂口 徹雄	自平成 26 年 4 月 2 日 至平成 28 年 4 月 1 日
臼井 満芳	自平成 28 年 4 月 2 日 至平成 30 年 4 月 1 日
武井 郁郎	自平成 30 年 4 月 2 日 ～ 現在

◆坂城町

氏名	在職期間
富山 泰行	自平成 14 年 4 月 2 日 至平成 16 年 4 月 1 日
塩野入 博幸	自平成 16 年 4 月 2 日 至平成 18 年 4 月 1 日
片山 吉一	自平成 18 年 4 月 2 日 至平成 20 年 4 月 1 日
高橋 進平	自平成 20 年 4 月 2 日 至平成 22 年 4 月 1 日
塩野 今朝文	自平成 22 年 4 月 2 日 至平成 24 年 4 月 1 日
手塚 秀樹	自平成 24 年 4 月 2 日 至平成 26 年 4 月 1 日
松本 幸男	自平成 26 年 4 月 2 日 至平成 28 年 4 月 1 日
川島 金治	自平成 28 年 4 月 2 日 至平成 30 年 4 月 1 日
長谷川 修	自平成 30 年 4 月 2 日 ～ 現在

消防副団長

◆千曲市

氏名	在職期間
岡田 忠行	自平成 16 年 4 月 2 日 至平成 18 年 4 月 1 日
臼井 満芳	自平成 16 年 4 月 2 日 至平成 18 年 4 月 1 日
渡島 港一	自平成 16 年 4 月 2 日 至平成 18 年 4 月 1 日
島田 久敏	自平成 18 年 4 月 2 日 至平成 20 年 4 月 1 日
北村 嘉照	自平成 18 年 4 月 2 日 至平成 21 年 4 月 1 日

氏 名	在職期間
横 山 征 之	自平成 18 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
塚 田 昌 平	自平成 20 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
坂 口 徹 雄	自平成 21 年 4 月 2 日
	至平成 25 年 4 月 1 日
亘 健 二	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日
林 幸 彦	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日
藤 澤 公 二	自平成 24 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日
宮 入 義 徳	自平成 24 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日
西 澤 誠 二	自平成 25 年 4 月 2 日
	至平成 27 年 4 月 1 日
福 島 幸 久	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
湯 井 勉	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
宮 原 辰 美	自平成 27 年 4 月 2 日
	至平成 29 年 4 月 1 日
宮 森 文 男	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
武 井 郁 郎	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
岡 田 正	自平成 29 年 4 月 2 日
	～ 現 在
山 崎 亜 成	自平成 30 年 4 月 2 日
	～ 現 在
瀬 在 順 一	自平成 30 年 4 月 2 日
	～ 現 在

◆坂城町

氏 名	在職期間
竹 内 今 朝 通	自平成 14 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日
塩 野 今 朝 文	自平成 14 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日
荒 井 一 郎	自平成 16 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日
山 崎 勉	自平成 16 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日
松 本 幸 男	自平成 18 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日
川 島 金 治	自平成 18 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日
村 田 健 二	自平成 20 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
竹 内 敏 正	自平成 20 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
手 塚 秀 樹	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日
深 井 幸 年	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 25 年 12 月 31 日
大 井 義 明	自平成 24 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日

氏 名	在職期間
今 井 正 人	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
鈴 木 清	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
長 谷 川 修	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
小 宮 山 泉	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
鈴 木 忠	自平成 30 年 4 月 2 日
	～ 現 在
宮 下 喜 幸	自平成 30 年 4 月 2 日
	～ 現 在

千曲坂城危険物防火管理協会

◆会長

氏 名	在職期間
荻 原 光 太 郎	自平成 15 年 5 月
	至平成 17 年 5 月
宮 本 健 二	自平成 17 年 5 月
	至平成 19 年 5 月
田 島 光 雄	自平成 19 年 5 月
	至平成 29 年 5 月
柳 澤 謙 二	自平成 29 年 5 月
	～ 現 在

◆副会長

氏 名	在職期間
宮 本 健 二	自平成 15 年 5 月
	至平成 17 年 5 月
中 村 明 文	自平成 15 年 5 月
	至平成 17 年 5 月
田 島 光 雄	自平成 17 年 5 月
	至平成 19 年 5 月
若 林 俊 樹	自平成 17 年 5 月
	至平成 29 年 5 月
藤 井 幹 男	自平成 19 年 5 月
	至平成 26 年 3 月
柳 澤 謙 二	自平成 26 年 3 月
	至平成 29 年 5 月
松 岡 行 久	自平成 29 年 5 月
	～ 現 在
小 平 和 正	自平成 29 年 5 月
	～ 現 在

消防年報
2018
平成 30 年 10 月発行



発行：千曲坂城消防組合
〒389-0806
長野県千曲市大字磯部 1221 番地
TEL：026-276-0119
FAX：026-276-9119
E-mail：chikumasakaki@fdcs.or.jp